

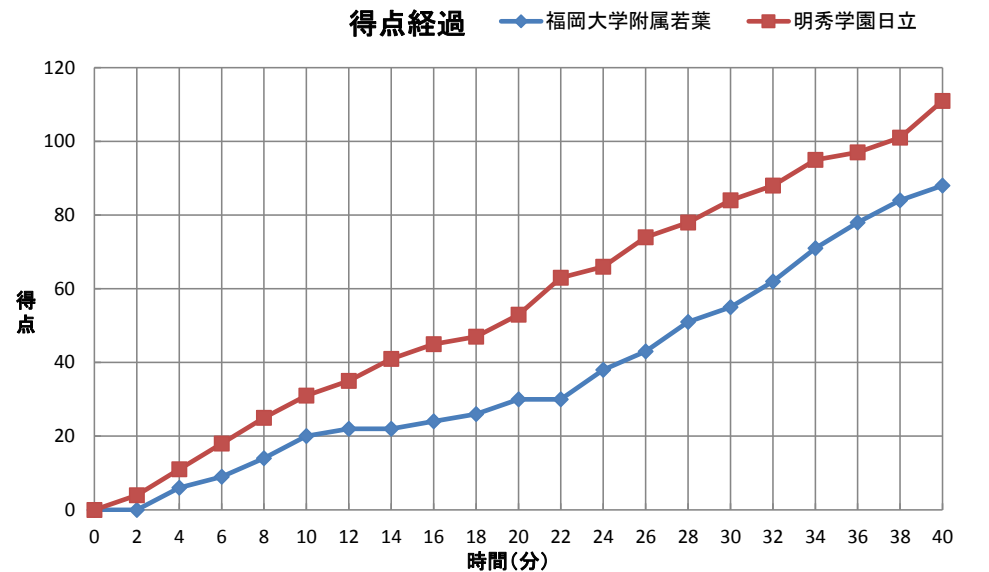


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女 子		平成27年7月31日				13:20 開始							
3 回戦		山城総合運動公園体育館				G							
福岡大学附属若葉 88		201st31 102nd22 253rd31 334th27				◎ 111 明秀学園日立							
(福岡県)						(茨城県)							
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	永野 倫后	3	1	0	0	5	* 4	大井川 明日香	8	0	3	2	1
* 5	内尾 聡菜	27	0	13	1	4	* 5	菊地 恵里奈	23	0	9	5	2
6	福本 萌香	0	0	0	0	0	* 6	池元 美沙希	10	0	4	2	2
* 7	渡辺 満里奈	23	2	8	1	5	* 7	岡田 英里	28	4	5	6	2
8	笠井 桜可	0	0	0	0	0	8	中野 愛	3	0	1	1	0
9	嘉数 唯	0	0	0	0	0	9	大川 星菜	2	0	0	2	0
10	中嶋 まひろ	0	0	0	0	0	10	市川 知奈	14	0	5	4	1
* 11	三輪 眞子	11	3	1	0	1	* 11	真栄城 紗英乃	11	1	3	2	2
12	鬼塚 彩乃	0	0	0	0	0	12	後藤 未来	8	1	2	1	1
13	篠原 愛華	7	0	3	1	4	13	藤井 未咲	-	-	-	-	-
14	沼野 かえで	2	0	1	0	1	14	瀧 優梨紗	2	0	0	2	0
* 15	二ノ宮 可南	15	0	6	3	3	15	吉原 憂良	2	0	1	0	0
コーチ	池 田 憲 二					0	コーチ	筑波 大					0
Aコーチ							Aコーチ	照沼 幸香					
合 計		88	6	32	6	23	合 計		111	6	33	27	11
主審: 北島 寛臣													
副審: 佐田 幸一													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	6:30	17:25	21:48	26:23	36:33	:	:	:	:
TeamB	19:25	:	22:35	34:52	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともハーフコートマンツーマン。明秀は速い展開から#7の3Pやドライブ、#5のポストプレイ、#8のアシストからのゴール下シュートなどが決まる。福大若葉は#5のインサイドプレイや#15のリバウンドで応戦するが、明秀の勢いある攻撃を止めきれない。31対20の明秀リードで終了。

第2P、明秀は速いパス回しからリング下にてノーマークを作り得点。随所に#7のスピードある切れ込み、#5のポストプレイ、#10のリバウンドが光り、相手のファウルによるフリースローも確実に決め、相手を突き放す。若葉はオフェンスリバウンドを獲得するも、得点につながらない。残り30秒相手チームのタイムアウトの後にオールコートプレスで#7が得点。53対30で明秀リードのまま終了。

第3P、明秀は#11、#7の3Pが立て続けに決まり、勢いは止まらない。福大若葉は2分経過のタイムアウトからオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ反撃にでる。カットから#7のジャンプシュートで流れを掴もうとするが、明秀の#7が緩急をつけたドリブルワークと視野の広さで相手チームのプレッシャーに対して冷静に対応し、再び相手を引き離す。福大若葉は残り3分のタイムアウトから#4、#11の3Pや#5がインサイドで粘るが、#4が5ファウルで退場し、84対55明秀リードで終了。

第4P、福大若葉はオールコートでプレッシャーをかけ続け、#7の3P、#13のドライブで連続得点。18点差まで詰める。#13が1対1からドライブで気迫あふるプレイをみせ、#5も相手をかわすステップインから得点を重ねるが、明秀もタイミングよくずれて飛び込む選手にボールが集まり得点。点差は縮まらない。終盤明秀は交代で出てくる選手全員がそれぞれの得意なプレイで得点し、111対88でベスト8進出を決めた。

戦評: 平井 朋美

記録: 鳥羽高校